

天井用取付けユニット

NP13CM 設置調整説明書

このたびは NEC 天井用取付けユニットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。正しくお使いいただくために、この設置調整説明書をよくお読みください。天井用取付けユニット NP13CM はプロジェクター NP-U300XJD/NP-U310WJD 専用の天井用取付けユニットです。他のプロジェクターには使用できません。

プロジェクターの取り付けには特別な技術が必要です。お客様による工事は、一切行わないでください。

ご販売店様・工事店様へ

お客様の安全のため取り付け場所の強度には、本体および取付けユニットなどの荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工をお願いいたします。

目次

設置の前に必ずお読みください.....	2
はじめに	4
■ 同梱の部品について	4
■ 各部の名称	4
■ 各部の寸法	5
プロジェクター設置のしかた	6
投写位置調整のしかた	9
■ 調整の前に	9
仕様	11

NECディスプレイソリューションズ株式会社

お問い合わせは

NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター

電話番号：0120-610-161

受付 9:00～18:00

(土・日・祝祭日、および当社指定日は除く)



再生紙を使用しています 大豆油インキを使用しています

設置の前に必ずお読みください

●絵表示について

この「設置調整説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）をうながす内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



○記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



●記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

警告



- プロジェクターを設置および投写位置を調整する際は、必ず本書に基づいて行ってください。誤った設置および投写位置の調整はプロジェクターが落下してけがの原因となります。



- 落下防止のため取り付け場所の強度および固定方法は、プロジェクター（6.5kg）および天井取付けユニット（2.8kg）などの総合荷重（約 9.3kg）に長期間十分耐え、また地震にも十分耐える施工を行ってください。誤った取り付けを行った場合、プロジェクターが落下してけがの原因となります。以下の事項を必ずお守りください。
 - 天井固定部の天井固定ボルトは M8 を使用してください。
 - プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですで行わないでください。また、電源プラグを抜き差しできるように手のとどくコンセントをご使用ください。
 - 天井が木造の場合の取り付け荷重は必ず梁に持たせるようにし、梁の強度が不足する場合は、補強してください。天井の幅木や受け木には取り付けないでください。また、鉄骨梁の吊り天井の場合も荷重を梁に持たせ、天井吊り金具などには取り付けないでください。
 - 天井がコンクリートの場合の取り付けプロジェクターの荷重に十分耐える市販品のアンカーボルト（M8）やアンカーナットおよびこれらに類するものをご使用ください。

⚠警告



- 安全確保のため、ボルト、ネジおよび調整つまみ類は確実に締めつけてください。プロジェクターが落下してけがの原因となります。



- 天井固定部にプロジェクター取り付けアダプタのミゾに合わせるとき、確実に入っていることを確かめてください。プロジェクターが落下してけがの原因となります。



- ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを天吊り固定部に使用しないでください。固定部の材質が劣化しプロジェクターが落下してけがの原因になります。



- 部品を改造しないでください。プロジェクターが落下してけがの原因となります。



- こわれた部品を使用しないでください。プロジェクターが落下してけがの原因となります。万一部品がこわれた場合は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。



- プロジェクター動作中はミラーをのぞかないでください。視力障害の原因となります。



- プロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。

⚠注意



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次のような使いかたはしないでください。たとえば、プロジェクターを壁などの狭い風しの悪いところに設置する・カバーなどでおおい隠すなど。



- プロジェクターを冷暖房の吐き出し口や振動の多い場所には設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 湿気やほこり、油煙や湯気の当たるようなところ（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。火災の原因となることがあります。



- プロジェクターを設置するときは周囲から十分な間隔をあけてください。十分な間隔をあげないと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

お願い

- ほこりや湿気、油煙やタバコの煙の多い部屋はさけてください。ミラーなど光学部品に汚れが付着して、画質低下の原因となります。
- 直射日光や照明の光がスクリーンにあたる場所はさけてください。スクリーンに周辺の光が直接あたると画面が白っぽくなり見にくい画面となります。
- 高温または低温になる場所には設置しないでください。故障の原因となります（使用温度範囲はプロジェクターの取扱説明書をご覧ください）。

はじめに

■ 同梱の部品について

この製品は、組み立てて梱包しています。

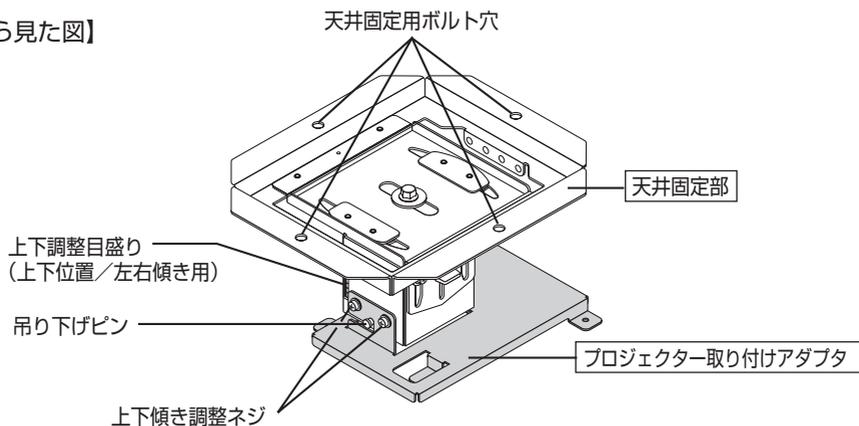
天井取付けユニット (1台)

プロジェクター取り付けネジ M4 × 10mm (4本)

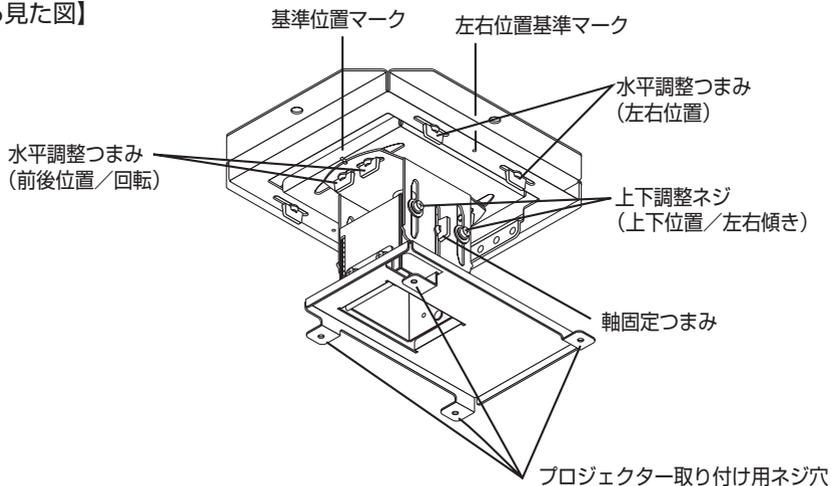
設置調整説明書 (本書)

■ 各部の名称

【上から見た図】

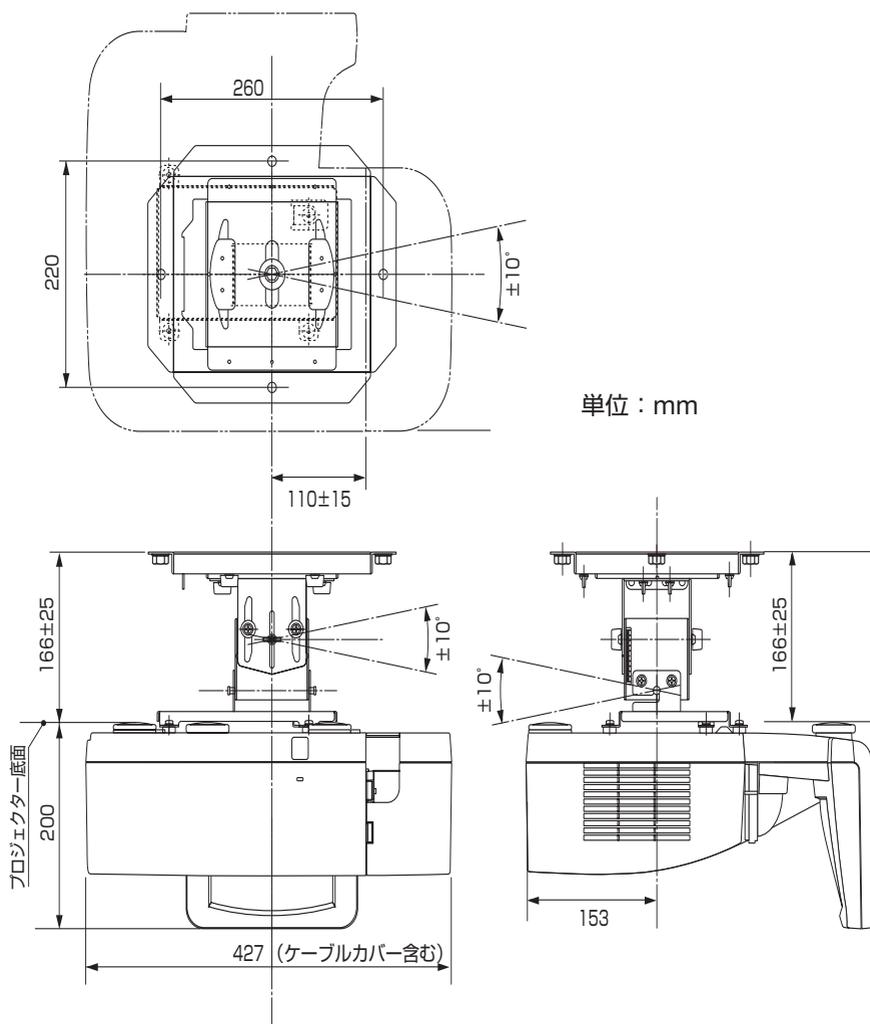


【下から見た図】



■ 各部の寸法

天井取り付けボルト位置の寸法、最大回転角度、最大シフトの寸法を記載しています。



プロジェクター設置のしかた

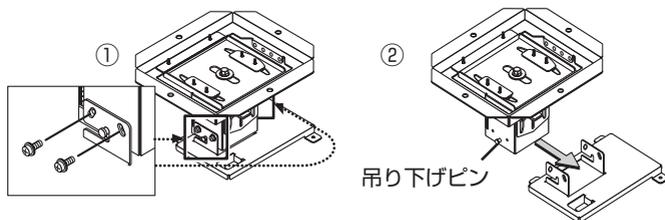
設置の前に

1. スクリーン設置場所を検討し、天井用取付けユニットの取り付け位置を決定します。
プロジェクターの取扱説明書「画面サイズとプロジェクター取り付け位置の目安」をご覧ください。
 - 斜め投写の設置はできません。正面投写の位置決めをしてください。
2. 設置位置が本書の2ページ「設置の前に必ずお読みください」の条件を満たしているかご確認ください。
 - NP-U300XJD/NP-U310WJD は、光軸の打ち上げ角度が高いため投写距離がずれると投写画面サイズや位置が大幅に変化します。またプロジェクターの向きがずれると画面の歪み量が多くなります。
 - 天井取付けユニットは最大 $\pm 10^\circ$ の上下左右および傾斜の調整ができますが、角度を大きくとりますと、映像の歪みも多くなります。大きく角度調整をする際は、スクリーンの角度も併せて調整してください。

準備：

1. 天井取付けユニットからプロジェクター取り付けアダプタを外します。

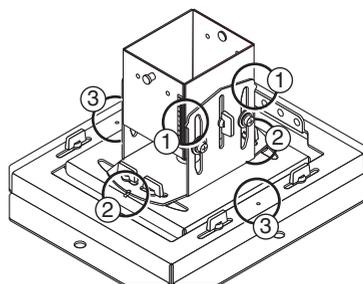
- ① M5 × 15 ネジ (4本) を左に回して外します。
- ② プロジェクター取り付けアダプタを吊り下げピンから外します。



2. 天井固定部品の左右上下および回転を基準位置に合わせます。

各々の調整つまみ・軸固定つまみをゆるめて (左回し) 位置マークや目盛りの基準位置にあわせ、その後、軸固定つまみ・調整つまみを締めつけて (右回し) ください。

- ① 両わき目盛りの「▲」に突起部を合わせます。
- ② 切り欠きを基準位置マークに合わせます。
- ③ 左右基準位置マーク (丸穴) を下のプレートに合わせます。

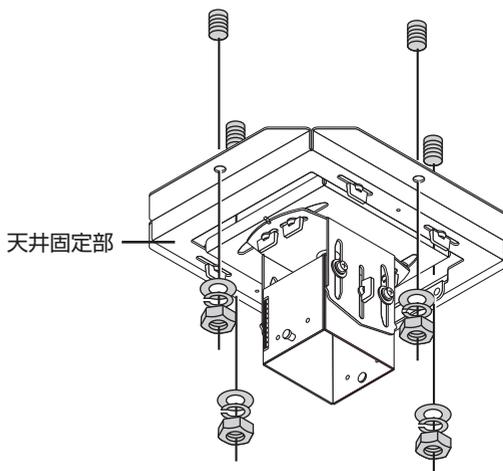


1. 天井固定部を天井に取り付ける

はじめにナット4箇所を仮止めし、位置決めを行った後、しっかり締めつけます。

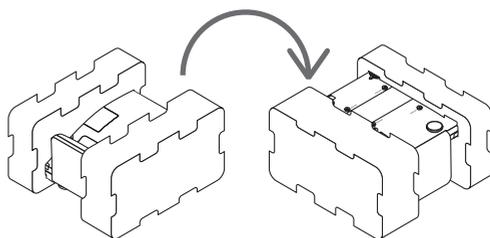
⚠ 警告

天井固定部のボルトは M8 を使用してください。M8 以外を使用するとプロジェクターが落下してけがの原因となります。



2. プロジェクター取り付けアダプタをプロジェクターに取り付ける

- ① プロジェクターを梱包用ポリ袋を取り外します。
- ② 再び、梱包用のスペーサをプロジェクターに取り付けてからプロジェクターを裏返します。
- ③ プロジェクター底面の穴に取り付けアダプタを合わせ、添付のプロジェクター取り付けネジ (M4 × 10) 4本をしっかり締めつけます。



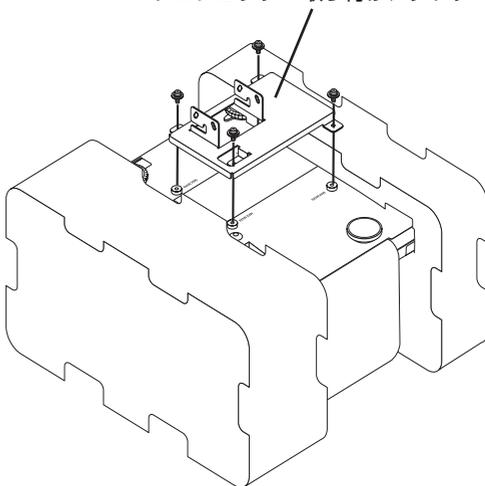
プロジェクター取り付けアダプタ

注意

スペーサを外してプロジェクターアダプタの取り付け作業を行わないでください。ミラー部分に力が加わり投写画面のずれや破損の原因になります。ミラーとレンズに触れないでください。汚れや傷がつくと画質低下の原因になります。

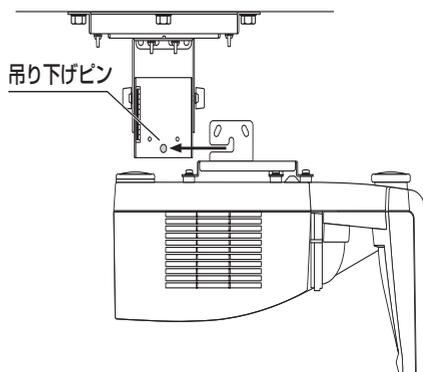
⚠ 警告

添付品以外のネジで取り付けるとプロジェクターを破損させたり、プロジェクターが落下してけがの原因となります。必ず添付のネジを使用してください。



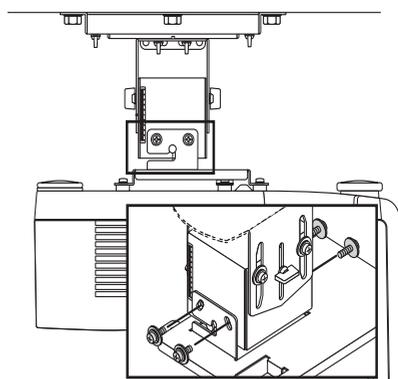
3. 天井固定部にプロジェクターを吊り下げる

吊り下げピンにプロジェクター取り付けアダプタのミゾをスライドさせて奥まで入れます。
この状態は一時的に吊り下げるため、固定されていませんので、落下しないように注意してください。



4. プロジェクター取り付けアダプタを仮止めする

「準備」で外したネジ (M5 × 15) 4本で仮止めします。
できるだけ傾きのないように取り付けてください。
スクリーンの投写位置調整後は、しっかり締めつけてください。



これでプロジェクターの設置が終わりました。

投写位置調整のしかた

■ 調整の前に

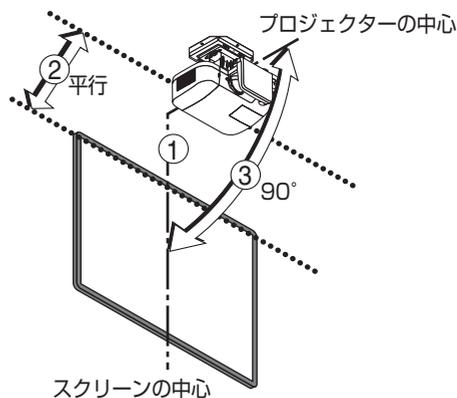
プロジェクターの準備

- プロジェクターから映像を投写し、はじめにプロジェクターのフォーカスレバーを回して、投写画面のピントを粗調整してください。
投写までの手順は、プロジェクターの取扱説明書「機器と接続する」および「映像を投写する（基本操作）」をご覧ください。
- オンスクリーンメニューの「設定」→「投写方法」で （天吊りフロント）を選択してください。プロジェクターのオンスクリーンメニューの「スクリーン調整」→「水平イメージシフト」および「垂直イメージシフト」が0になっていることを確認してください。

参考

調整のポイント

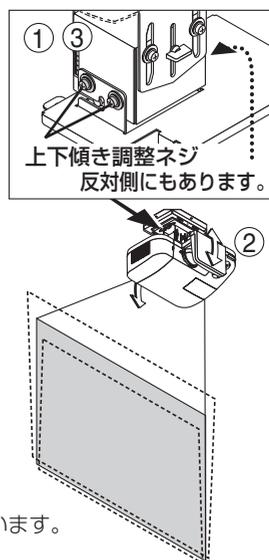
- ① プロジェクターの中心とスクリーンの中心を合わせる
- ② プロジェクターとスクリーンを平行にする
- ③ プロジェクターとスクリーンを90°にする



1. スクリーンと90°（直角）になるよう 上下の傾きを調整する

上下が傾いていると投写画面が台形状に歪み、また投写高さの大幅なずれが生じます。

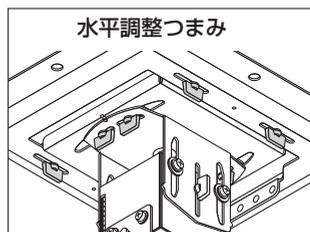
- ① 上下傾き調整ネジをゆるめ（左回し）します。
 - ② 画面の両端が平行になるように調整します。
投写画面がスクリーンからはみ出している位置がずれていてもかまいません。
 - ③ 上下傾き調整ネジを仮締め（右回し）します。
- ※ 投写画面が左右に傾いているときは、手順3のときに調整を行ってください。



※イメージ図のスクリーン枠は省略しています。

2. 投写画面（横方向）の上端がスクリーンの幅一杯に収まるよう、 프로젝ターを左右前後にずらす

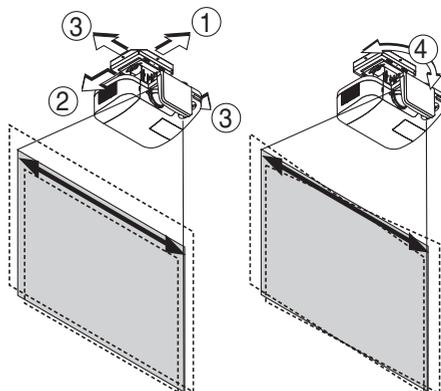
水平調整つまみを少しゆるめ（左回し）て調整し、調整後、水平調整つまみを締めつけ（右回し）ます。



こんなとき

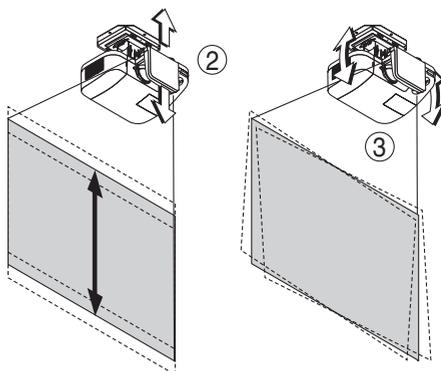
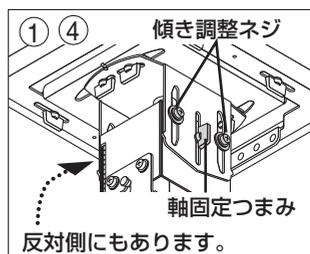
- ① 画面が小さい：後へずらします（投写位置は下がります）。
- ② 画面が大きい：前へずらします（投写位置は上がります）。
（ずらすときは、スクリーンとの平行を保ったままずらしてください。）
- ③ 画面がスクリーンから左右にずれている：スクリーンの中心へ左右にずらします。
- ④ 画面の上下が平行でない：平行になるよう左または右へ回転させます。

※ 最大調整範囲：前後± 25mm、左右± 15mm、回転± 10°



3. 投写画面（縦方向）がスクリーンに収まるよう、高さを調整する

- ① 傾き調整ネジ（4本）をゆるめ（左回し）ます。
- ② プロジェクターの取手を下から押さえた状態で、軸固定つまみ（2個）をわずかにゆるめて高さを調整し、再び軸固定つまみを締めつけます。
- ③ 投写画面が左右に傾いている場合は、傾きを調整します。
- ④ 軸固定つまみ、傾き調整ネジを締めつけます。



⚠ 警告

軸固定つまみおよび傾き調整ネジをゆるめると、 프로젝ターが落ち（スライド範囲内）、機器が破損する恐れがありますので、必ず 프로젝ターを下から押さえてください。

4. プロジェクターのフォーカスレバーを動かして、投写画面のピントを合わせる

投写位置が合わないときは再び 1 から調整しなおしてください。

これで、投写位置の調整が終わりました。
各ネジ・調整つまみを本締めしてください。

仕様

品 名 : 天井取付けユニット

形 名 : NP13CM

調整角度 : 上下角度 $\pm 10^\circ$ 、左右角度 $\pm 10^\circ$ 、傾角度 $\pm 10^\circ$

調整範囲 : 前後 $\pm 25\text{mm}$ 、左右 $\pm 15\text{mm}$ 、上下 $\pm 25\text{mm}$

外形寸法 : 290 (W) \times 250 (D) \times 170 (H) mm

質 量 : 約 2.8kg

添 付 品 : 設置調整説明書 : 1 冊

この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。